

経営比較分析表

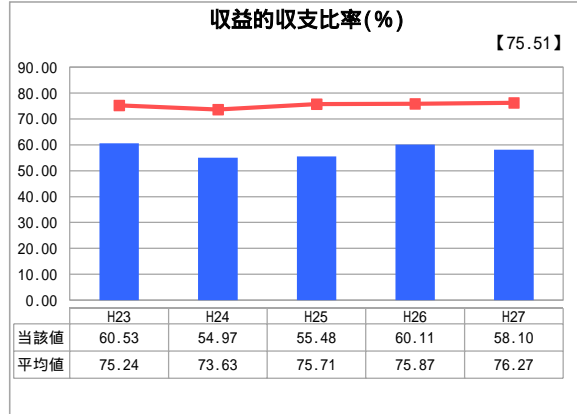
岡山県 津山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.71	2,484

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
103,954	506.33	205.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,861	20.50	237.12

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



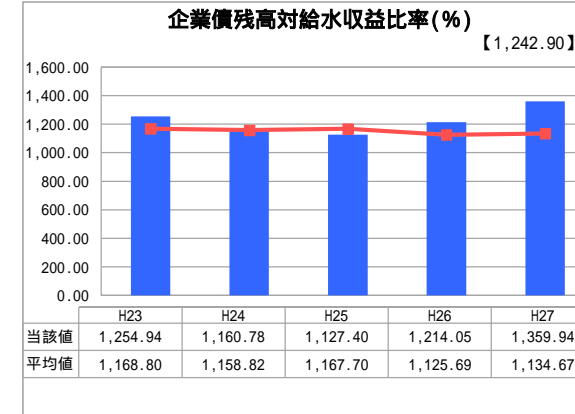
「単年度の収支」



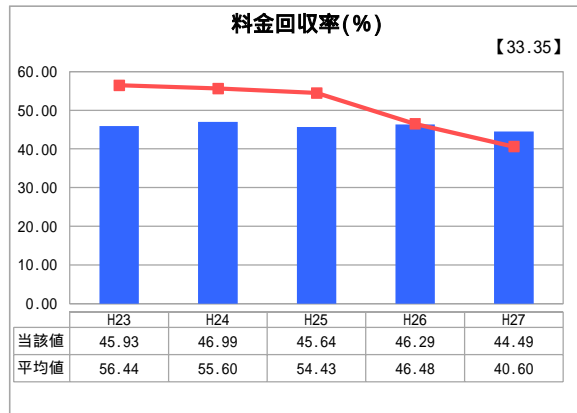
「累積欠損」



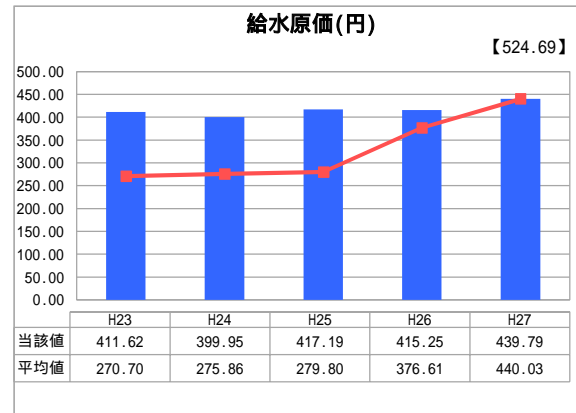
「支払能力」



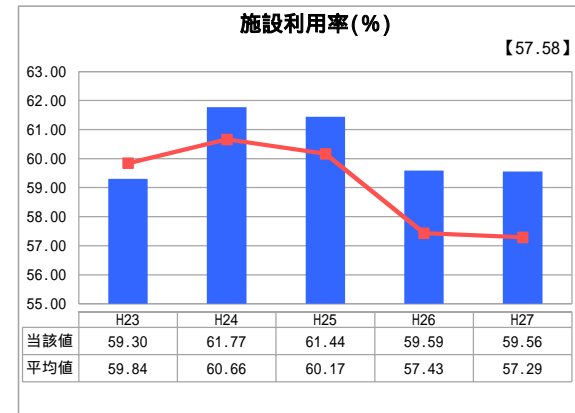
「債務残高」



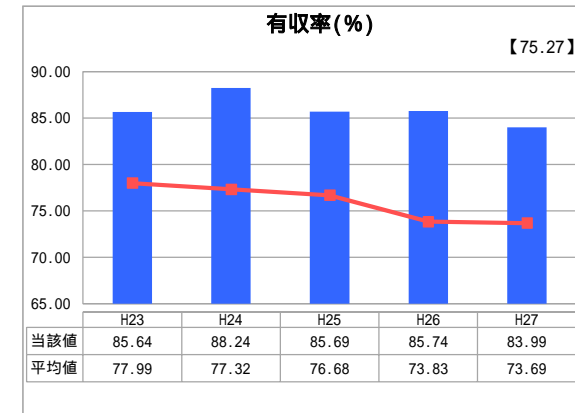
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

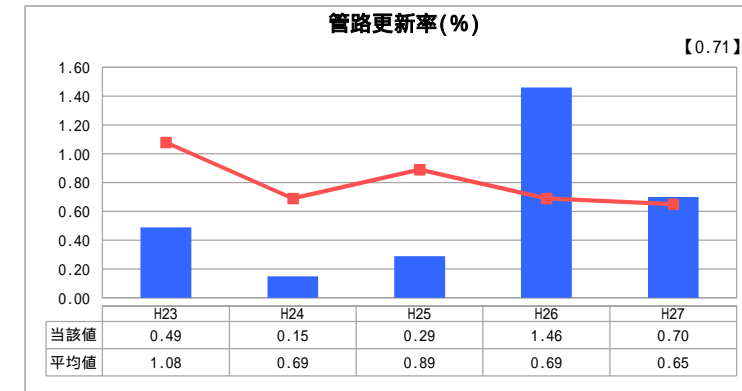
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、類似団体よりも低く、近年60%前後で推移しており、更なる費用削減を行う必要がある。

企業債残高対給水収益比率は、平成24年より遡増しており、料金水準等見直していく必要がある。

料金回収率は、類似団体をやや上回っているが、依然45%程度で推移しており、料金収入の確保が問題である。

給水原価は、平成24年より遡増しているが、類似団体と同程度の数値となっている。

施設利用率は、類似団体を上回っているが、近年60%前後を推移している。

有収率は、類似団体を上回っているが、近年85%前後を推移している。

2. 老朽化の状況について

老朽管更新率は、平成26年に突出しているが、平成27年は類似団体と同程度となっている。

全体総括

平成29年度より上水道に統合することで、水道料金も上水道と合わせることをしている。しかし、施設利用率等も60%程度で推移しており、将来の給水人口の減少等を踏まえ、適切な施設規模での運営方法等検討していく必要がある。